

おもな事業を紹介します

Part 1

平成18年度にかほ市の一般会計予算額は132億500万円となりました。三位一体の改革による、国の補助金の廃止や地方交付税等の抑制など地方財政を取り巻く環境はたいへん厳しいものになっていきます。にかほ市では、市の基本理念である「夢あるまち」「豊かなまち」「元気なまち」の実現を目指し、真に住民が必要とするサービスの提供と向上を図る予算編成に努めています。

協働のまちづくりの推進

「夢いきいき21 マイタウン事業」

市では、より安全で住みよいまちづくりを目指し、社会的課題を解決するために、住民と行政がお互いに英知と力を出し合い協力して働く、「協働のまちづくり」を推進しています。そのひとつとして次のとおり「夢いきいき21 マイタウン事業」を実施しています。

市では、より安全で住みよいまちづくりを目指し、社会的課題を解決するために、住民と行政がお互いに英知と力を出し合い協力して働く、「協働のまちづくり」を推進しています。そのひとつとして次のとおり「夢いきいき21 マイタウン事業」を実施しています。

対象となる地域づくり事業

「コミュニティ事業」「伝統文化、芸能の保存事業」「イベントの開催事業」などです。ただし、国や県の補助を受けない事業が対象となります。また、既存の市の補助制度がある場合はそちらが優先されます。市内

マイタウン事業とは

自ら地域づくりを实践する団



昨年度、汐見町(象潟)では地域の遊園地を憩いの場所として再生するため、本事業の補助金を利用しベンチを設置

対象とならないもの 対象とならない経費

「営利を目的とした収益事

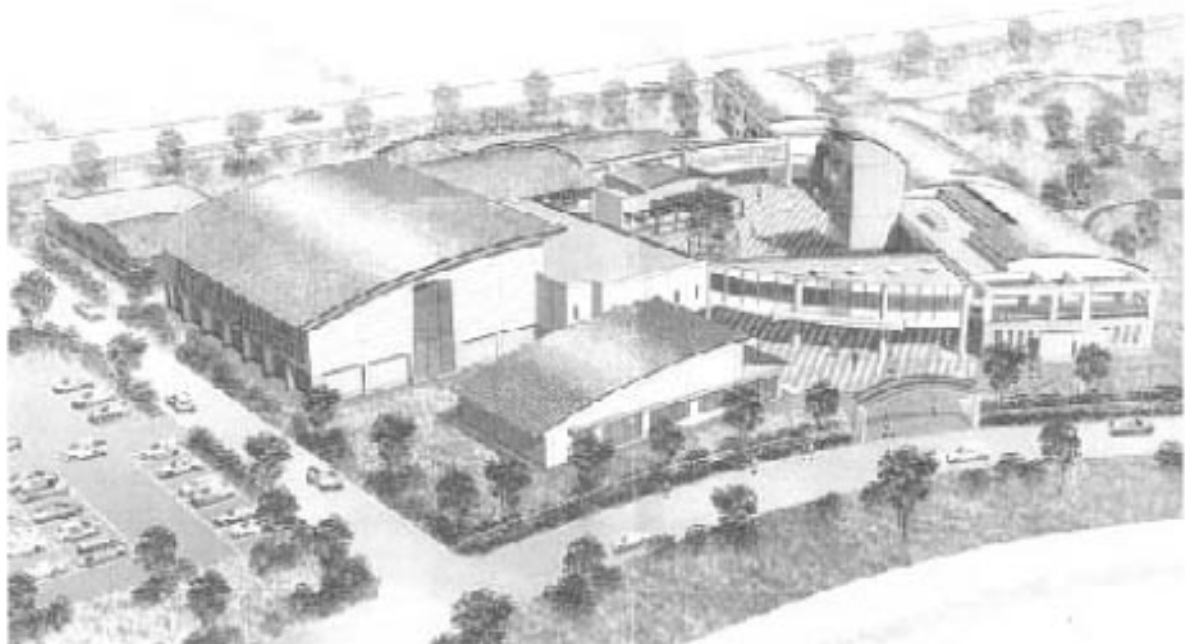
全域を対象としていますので、各町内会、市内で活動する各種団体・実行委員会などです。PTA等も含まれます。また、場合によっては個人でも申請できます。

窓口・問合せ

総務部企画課地域交流推進係
☎43-7510

象潟中学校建設

「体育館と共同調理場の建設始まる」



完成予定図

(実施設計では若干形状が異なる個所があります)

5年越しの 事業実施が決定

平成13年に建設検討委員会を設置以来、5年越しの事業実施が決定しました。

国の予算の都合により、体育館と学校給食共同調理場の建設が先に進められます。建設事業費は体育館が約6億円、学校給食共同調理場が約4億円です。体育館は、バスケットボールやバレーボール競技が2面同時使用できる広さになっています。現在の学校給食共同調理場は建物、設備ともに老朽しており、衛生面でも大変気を使っています。したが、今回の建設では近代的なドライシステムになって、作業の効率化と安全面にも配慮され、衛生面では申し分のない施設となります。

地域住民でつくる 広場を予定

広場を予定

全体配置としては、いままでの学校スタイルである建物がきれいに並んだ形ではなく、いわゆる「キャンパス」ともいえるモダンな配置となっています。外部はソフトボール場、テニスコートを新設するとともに、休み時間や放課後、ホームルームなどにも使用できる自然空間(広場)を生徒と地域住民の手でつくり出すと予定しています。

市内には小学校8校、中学校4校がありますが、象潟中学校と同時期に建設された仁賀保中学校の建設も計画しています。使用する人たちの意見を聞きながら今後も整備計画を立ててまいります。

※ドライシステム…なるべく床に水を流さず、床が乾いた状態で給食をつくることのできる構造です。

また、校舎と武道場の建設は本年度から2カ年事業で完成できるよう国に要望しています。建設事業費は、校舎が約15億8千万円、武道場が約1億4千万円です。校舎は周囲の環境や景観にも配慮し、他の学校より低い2階建になっており、木材をふんだんに使用することで、木の温も